

令和6年度 事業計画概要

多様な連携のもと挑戦と変革を

まえがき

3年余りに及んだコロナ禍により制限されていた社会活動等が再開されたものの、エネルギー高や原材料高、慢性的な人手不足などの課題に加え、多くの事業者への影響が懸念される物流2024年問題など様々な経営課題が押し寄せ、事業者の経営環境は、依然として厳しい状況が続いています。

経済・社会構造が大きく変化する現代において、事業者が永続的かつ安定的に成長を続けるためには、その時々環境に適応し、果敢にチャレンジを続ける必要があります。

舞鶴商工会議所は、地域社会と事業者の多様な連携を創出する中で、「挑戦と変革」をキーワードとして、それぞれの課題解決に寄与する共創の取り組み推進と新たな地域産業基盤の構築を目指し、以下の事業に取り組んでまいります。

基本方針

1. 新たな産業基盤の構築を推進

商工会議所は令和4年度に、当市が持つ時代背景と地政学的な優位性を踏まえ、「海のものづくり産業」と「次世代エネルギー産業」の基盤構築について政策提言をまとめました。今年度においても、情報収集や先進的な取り組みの調査など、提言内容のフォローアップを行い、府・市と連携し、国をはじめ関係機関に働きかけ、提言の実現に向けて取り組んでまいります。

重点事業

- 政策提言フォローアップ事業

2. 自己変革にチャレンジする事業者を応援

人手不足が深刻化する中において、事業を継続、成長させていくためには、ECによる販路拡大やデジタル・DX化による生産性向上、企業の魅力発信、目に見えない企業資産を見つめ直す「知恵の経営」などの

取り組みが重要です。商工会議所は、行政や金融機関、経営支援機関等が連携し、それぞれが持つ機能と強みを活かしながら、事業者が抱える様々な課題解決に向けて、チームサポートを行う産業振興プラットフォームを構築し、自己変革を進めながら、新たな取り組みにチャレンジする事業者への重点的な支援に努め、地域経済全体の底上げを目指します。

重点事業

- 産業振興プラットフォーム推進事業
- 事業計画策定支援事業
- 事業承継支援事業
- デジタル活用推進事業
- 企業の魅力発信事業

3. 信頼される組織であり続けるために

商工会議所がこれからも継続して地域経済に貢献していくためには、委員会運営や部会活動を通して会員間の交流と連携をさらに促進する必要があり、その一方で会員の増強に向けた取り組みも不可欠です。商工会議所は、本年4月からの5年間、商工観光センターの指定管理者に選定されました。事務局は、DX化のさらなる促進によって生産性の向上に努め、事業者支援と産業振興を軸とした、商工観光センターの管理・運営をおこないます。

重点事業

- 新規会員加入促進事業
- 商工観光センターの一体的管理

行動指針

1. 行動する商工会議所、魅力ある商工会議所づくりを進める。
2. 府、市、他の経済団体との連携を一層強化する。
3. 部会、委員会の活動を強化する。
4. 会員ニーズの把握に努め対応する。